

あなたに届ける議会のホットニュース

議会だより

URESHINO うれしの

No.44

平成29年1月27日発行

12月議会の ニュースのとびら



▲一年を走る（寒空の中、開催された嬉野温泉健康ロードレース大会）

白熱した討論

轟・大野原コミュニティセンター付帯決議に賛否両論！

P4

12月補正予算概要

繰越金を主な財源にした補正予算

P2

補正予算を審議

12月補正予算の中身を鋭く審議

P3

委員会レポート

常任委員会の先進地視察研修の報告

P18
~19

活発な一般質問

今回も14名の議員が活発な議論をくり広げた

P8
~17

ドリームハンズ

子ども模擬議会

中学生の声

市内中学生の「夢・思い」を掲載

P20

発行=嬉野市議会 編集=議会広報編集特別委員会

〒849-1492 佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769 TEL.0954(66)9127 FAX.0954(66)2887

一般会計 総額で 157億8166万円に 前年比較で10.8%の増

繰越金を基金に積立

定住促進奨励金や

橋りょう補修整備に

一般会計 4億4678万円を補正

平成28年第4回嬉野市議会定例会は、12月2日から12月15日までの14日間の日程で開催された。

提出された議案のうち6件は地方税法等の一部改正に伴う条例改正で、併せて、嬉野市社会文化会館の分筆登記による地番変更のため、条例の一部改正を行うもの。建設工事請負契約の締結1件は、うれしの茶交流館建築主体工事の契約を行うものである。一般会計補正予算（第6号）は、歳入歳出総額に4億4678万円を追加

会計名	補正額	補正後の総額
一般会計	4億4678万円	157億8166万円
国民健康保険	2544万円	49億900万円
後期高齢者医療	114万円	3億4800万円
農業集落排水	—	3億4839万円
公共下水道事業	15万円	3億4875万円
特別会計		
嬉野市浄化槽	—	9070万円
第七土地区画整理事業	2005万円	1億3305万円
第八土地区画整理事業	1430万円	1億2198万円
嬉野温泉駅周辺土地区画	2919万円	5億9772万円
水道事業		
収益的収入	180万円	6億4862万円
収益的支出	620万円	6億4831万円
資本的収入	699万円	2億6168万円
資本的支出	828万円	4億5113万円

し、補正後の予算総額は157億8166万円とするもので、当初予算比12・1%増、前年同期比10・8%増となる。基金積立金として、前年度決算

繰越金の2分の1相当額の2億3千万円を財政調整基金へ、市債償還の財源として6800万円を減債基金として積み立てるなどの提案があり、特別会計補

正予算8件と水道事業会計補正予算1件、地方議員の年金制度加入の意見書1件合計19件の全てを可決、補正予算に対する付帯決議1件は否決し15日閉会した。（替否表は5ページ）
今議会では14名の議員が一般質問を行い、執行部に鋭い質問と政策提案を活発に展開した。（8ページから掲載）

Q 基金って何だ

基金とは、地方公共団体が条例の定めるところにより、特定の目的のために、財産を維持し資金を積み立て、または定額の資金を運用するために設ける財産である。

基金の種類

年度間の財源調整のため余裕財源が生じた時、翌年度以降における財政状況を考慮して積み立てる財政調整基金や市債など借金の返済のために積み立てる減債基金などがある。

この他に特定の目的のために財産を維持し積み立てる学校建設基金や公共施設建設基金がある。また一定額の財産を運用する土地開発基金などもある。



▲不動産鑑定される轟・大野原地区コミュニティセンターでの朝市

**不動産
鑑定業務に
35万円**

事業の内容は。

問 轟・大野原地区地域コミュニティセンター建設に向けて、地方創生活点整備交付金の申請を行うために建設予定地を確保する必要があり、その不動産を鑑定する。

問 場所はどこなのか。

答 借地である現在のコミュニティセンターの土地である。

問 地元の方との協議はどうしたのか。

答 9月末にコミュニティの役員会で協議してもらった。

**定住促進
奨励金として
1500万円**

問 今回の増額補正の要因とその内容は。

答 当初予算で定住奨励金を33件3000万円計上していたが、申請者が予定よりさらに22件(転入7

件、持家15件)増加した。また、この事業の財源としてふるさと応援寄附金から1000万円を充当している。

**防災拠点建築物
耐震診断で
2125万円**

問 なぜ、今回この事業を実施するのか。

答 「建築物の耐震改修の促進に関する法律」等の改正により、防災拠点や避難所の耐震診断を行う必要がある。

問 どの建物か。

答 中央公民館、嬉野庁舎、公会堂である。

問 診断後の対応は。

答 今後の改修計画等の基礎材料にする。

**産地パワーアップ
事業に
1940万円**

問 事業の内容は。

答 県の補助事業で、嬉野大型製茶工場に釜炒り茶ラインを増設する。高単価で取引される2番茶の釜炒り茶を製造し、施

設の有効利用と農家の所得向上を目指すためのものである。

**橋りよう
橋修整備として
3330万円**

問 事業の内容は。

答 次年度改修工事を予定している3橋の実設計委託料として1550万円、現在工事に

取り掛かっている飯盛橋とすでに工事が完了した広瀬橋の工事請負費として1780万円である。

問 3橋とはどこか。

答 鞘川橋、桑ノ木原橋、清水橋である。

**嬉野温泉駅
周辺事業で
4800万円**

事業の内容は。

問 社会資本整備総合交付金を利用し土地区画整理事業を展開している。今回の補正は国の2次補正で予算が認められて、河川沿いの区画道路の築造を行うことになった。

問 今年度全体の工事はどのようになっているのか。

答 物件移転補償や道路築造、水路築造などを行っているところである。

その他の主な補正予算

項目	金額
障がい者福祉費	5252万円
小・中・高校生等医療費助成	435万円
間伐等森林整備促進対策事業	373万円
放課後児童クラブ環境改善整備推進事業	172万円
農林地崩壊防止事業	400万円
広域市町村圏組合消防費	285万円
農地・施設災害復旧	1130万円

白熱した討論

轟・大野原地区コミュニティセンターの付帯決議で

付帯決議案は否決

今回、轟・大野原地区地域コミュニティセンター建設に関わる地方創生活拠点整備交付金を申請するための不動産鑑定委託料が提案され可決した。その後、地域コミュニティ建設地については、地域住民との協議が不十分なまま拙速に実施することについて異議があると、再度協議を求める付帯決議案が提出されたが反対多数で否決した。

付帯決議案

提出者 宮崎良平議員

- 1 建設計画の事業推進に当たり、建設地や規模などについて再度地域コミュニティおよび地域住民と十分協議すること。
- 2 その協議内容および結果については、議会に報告をおこなうこと。

Q 付帯決議とは

議会で議決された法案や予算案に関して、施行細則・解釈の基準などについての意見や希望などを表明する決議で、法律上の効果を伴わない。



反対

芦塚典子 議員

地域コミュニティの拠点整備事業は、全住民の参加の下に時間をかけて協議され、また住民の理解の下に計画が進められる必要がある。

今回の事業は、小さな拠点形成に資する未来への投資の実現につながる先導的な施設整備を支援する交付金事業であり、地方創生の深化に向けて効果の発現に高い施設整

備を計画する意義は高いと認識する。国の地方創生拠点整備交付金2次補正に申請されたこの交付金事業は、地域コミュニティ運営協議会の活動拠点を整備し、施設を充実させることで、地域住民の活動がさらに活発化することが期待されるとして、この建設計画を進める意図が適切であると判断する。



賛成

田中政司 議員

8月に閣議決定された地方創生交付金に申請して、これからのコミュニティ活動の拠点として重要な位置づけのコミュニティセンターの建設計画である。

地方創生活拠点整備交付金を申請するにあたっては、非常に短い期間で決定されており、今後のコミュニティセンターの果たす役割を考えれば、地

域住民の声をしっかりと聞いて持つていくのが筋であり無理がある。交付金を使っての建設に対し異議を唱えるものではないが、再度地域コミュニティの方と執行部が十分な協議の上に予算執行されることを願って賛成討論とする。



反対

梶原睦也 議員

不動産鑑定業務（地域コミュニティセンター）委託料については、文教福祉常任委員会において説明を受け、慎重に審議を行った。

付帯決議案に「地域コミュニティおよび地域住民との協議が不十分なまま拙速に実施されようとしている」とあるが何を以てそう判断されたのか甚だ疑問である。さら

には、記2に「その協議内容及び結果については、議会に報告を行うこと」と記されているが、そもそも地域コミュニティ活動は地域の皆様が地域の課題に自主的に取り組まれるものであり、議会が介入することは極力避けるべきである。よって、付帯決議案には反対をする。



賛成

山下芳郎 議員

「轟・大野原地区地域コミュニティ」の事務所建設に伴う不動産鑑定業務は、元来地域住民が主体である。今回の流れを聞くと行政主導でこの場所ありきに見えて地域の声を反映しているとは言えない。

交付金の財源確保とはいえ、将来にわたっての地域に根ざした事務所であり拙速と言えらる。

再度、原点に戻り、現在地も含めしっかりと広く地域住民の声を反映できるよう検討する必要があると考え、付帯決議に賛成する。

今議会に2件の陳情

宇宙船地球号を守る為の陳情・地球社会建設決議陳情書

全ての原子力発電所を停止し、人のいない場所に核燃料を移して貰いたい。

陳情者 荒木 實

平成29年度市町補助金に関する要望について

看護師等養成事業の高い公益性を考え、来年度も財政的援助をお願いしたい。

陳情者 鹿島藤津地区医師会立看護高等専修学校
校長 下河辺 和人



▲看護師養成に貢献する看護学校

知ってますか

請願・陳情の出し方

みなさんから議会に要望などを伝える方法として、文章による請願や陳情書の提出があります。提出にあたっては次の事項に注意してください。

- 請願や陳情書には要旨と理由を簡単に、わかりやすく書いてください。
- 請願は一人以上の紹介議員が必要です。
- 紹介議員が付かないときは陳情書としてください。
- 道路等は簡単な地図(略図)をつけてください。
- 請願や陳情書のメ切りは定例会開会の6日前までです。

議案の賛否 どう判断

平成28年度第4回定例議会賛否表 (主なもの)

○は賛成 ●は反対

議案番号	議案名	結果	表決数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
				生田健児	宮崎良平	川内聖二	増田朝子	森田明彦	辻浩一	山口忠孝	田中平一郎	山下芳郎	山口政人	芦塚典子	大島恒典	梶原睦也	田中政司	織田菊男	西村信夫	山口要
議案第90号	嬉野市子育て支援医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第91号	平成28年度嬉野市一般会計補正予算(第6号)	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第101号	建設工事請負契約の締結について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第102号	土地の取得について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第6号	地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備の実現を求める意見書について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第7号	平成28年度嬉野市一般会計補正予算(第6号)に対する附帯決議について	否決	6:11	●	○	○	○	●	○	●	●	○	●	●	●	●	○	●	●	●

平成28年度第4回臨時議会賛否表 (主なもの)

議案第83号	嬉野市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例	可決	16:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
発議第84号	嬉野市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

償還払いから現物給付に 子育て支援医療費助成を改正



12月定例議会に条例改正6件が提出され、本会議において慎重な審議を行い可決した

問 医療費の助成を償還払いから現物給付に変更はどのような内容か。

答 今までは、医療機関で受診した場合、一部負担金や、全額を負担した場合、医療費の助成を市役所に申請し還付を受けていた。今後は、医療機関で受診した場合、医療費の一部負担金（2回目まで500円、3回目から無料）を支払うだけでよい。

問 市民への広報は。

答 市報や市のホームページ等でお知らせする。

問 高校生等までの医療費助成が、すべて現物給付になるのか。

答 小・中・高校生等まで現物給付になる。

問 期待される効果は。

答 医療機関で一部負担金（500円）を支払うだけで、市への返還請求を申請する手続きが不要となる。
*平成29年4月1日より

他の改正された 条例

- 嬉野市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正。
- 市税条例等の一部改正。
- 国民健康保険税条例の一部改正。
- 社会文化会館条例の一部改正。
- ひとり親家庭等医療費助成の一部改正。

Q 償還払いと現物給付との違いとは

償還支払いとは

医療機関での子どもの医療費支払いは、一部負担金や、全額を負担した後、市役所へ還付請求の手続きを経て、残額（医療費負担分から500円を控除した分）の還付が行われる。

そのため、市役所への医療費還付請求を申請しないと、残額は返還してもらえず、手続きが煩雑である。

現物給付とは

医療機関でこども医療費の負担分（1回目、2回目500円、3回目以降は無料）を支払うだけで、医療費負担が軽減される。

また、市役所への医療費の還付請求をする必要がなくなり簡素化される。

市役所においても現物給付では、医療費の還付請求の手続きに対応する人員と事務の省略化で、事務の効率化ができる。

国に意見書を提出

地方議員の厚生年金制度加入のための法整備の実現で

Q 意見書とは

地方自治法第99条において、地方自治体の公益にかかわる事柄に関して議会の議決に基づき、議会としての意見や希望を意見書として内閣総理大臣、国会および関係行政庁に提出できるとされている。

今議会では、地方議会議員の厚生年金加入を求める意見書を総務企画常任委員会で審議し、意見書を提出した。

地方議会議員の厚生年金に加入を求める意見書

地方創生が重要な政策課題となり、その実現に向け大きな責任を有する地方議会の役割は、ますます重要となっている。

地方議会議員は、これまで以上に諸課題について住民の意見をくみとり、的確に執行機関の監視や政策提言等を行うことが求められている。また、投票率の低下傾向や地方議員のなり手不足が深刻な問題となっている。

よって、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

次ページは
一般質問

14議員が質問

芦塚 典子 議員
(P8)

森田 明彦 議員
(P9)

山下 芳郎 議員
(P10)

織田 菊男 議員
(P10)

山口 忠孝 議員
(P11)

西村 信夫 議員
(P12)

田中 政司 議員
(P12)

大島 恒典 議員
(P13)

川内 聖二 議員
(P14)

辻 浩一 議員
(P14)

梶原 睦也 議員
(P15)

生田 健児 議員
(P16)

増田 朝子 議員
(P16)

山口 要 議員
(P17)



▲着々と工事が進む新幹線駅周辺

土地を取得

新幹線駅周辺整備のため

1. 所在地 嬉野市嬉野町大字下宿
甲字三本杉
2. 取得予定面積 9,910.80㎡
3. 取得の方法 売買
4. 取得予定価格 1億6400万円

うれしの茶交流館建設を契約

1. 契約の目的 平成28年度社会資本整備総合交付金
事業うれしの茶交流館建築主体工事
2. 契約の方法 特定建設工事共同企業体による条件付
一般競争入札
3. 契約金額 2億1859万2千円
4. 契約の相手方 上滝・大川内特定建設共同企業体

うれしの茶交流館建設工事 入札結果 (円)

	予定価格 (税込)	落札金額 (税込)	落札業者名
建築主体工事	273,240,000	218,592,000	上滝・大川内特定建設共同企業体
電気設備工事	41,472,000	39,366,000	株式会社 九電工 鹿島営業所
機械設備工事	63,180,000	50,544,000	相生・今西設備特定建設共同企業体
展示室工事	43,092,000	40,932,000	株式会社トータルメ ディア開発研究所
合計	420,984,000	349,434,000	



▲造成が進むうれしの茶交流館建設現場

臨時議会を開催

平成28年11月30日、嬉野市議会臨時会が開催された。専決処分報告が4件、

嬉野市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例、嬉野市議会の議員報酬、期末手当

及び費用弁償支給条例等の一部を改正する条例、嬉野市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の

3議案が上程されました。そのうち2議案が全会一致で可決。市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償支給条例等の一部を改正する条例の1議案は、賛成多数で可決した。

に斬り込む

14名が質問

嬉

野市まち・ひと・しごと創生総合戦略とは

芦塚典子議員

答 人口減少に立ち向かう戦略である



芦塚 嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本方針は。

市長 人口減少社会に力強く立ち向かい、交流人口の増加に向けて持続的に取り組んでいく。

芦塚 「ひとの流れ」をつくる戦略の基本目標は。

市長 観光客数、225万人8千人を目標として人口減少を少なくしたい。

芦塚 「しごとをつくる」戦略の基本目標は。

市長 新規雇用者の5年累計を180人として、目標設定をしている。

芦塚 予算配分におい

ては、子育てや若者の就業正規の雇用、女性が出産後職場に戻る、子どもが作れる・家が持てる、退職後に安心して暮らせるといふまちづくりを重点をおくべきかどうか。

企画政策課長 子育て支援に配慮した予算が付けられており、企業誘致ビルの整備や起業支援などに取り組む、若者の雇用の場を確保していく施策に取り組みたい。

塩田中学校体育館の危険防止策を

芦塚 体育館の鉄製の戸は、開閉時に危険ではないか。

教育長 防火機能を有する重厚な扉を設置しているが、ストッパー機能を付けているので、危険性はない。

芦塚 バドミントンの

支柱が水平ではないので、公式試合ができないが施工ミスではないか。

教育長 メーカーが違うのが原因と思われる。

芦塚 校内に防犯灯を付ける予定はないか。

教育長 設置するかどうかを検討する。

芦塚 入館者の推移は。

市長 平成18年ピーク時の4万人から2万9千人に減少している。

芦塚 トレーニングルームの利用者の推移は。

市民福祉部長 設備が古くなり減少している。

芦塚 高齢者の利用料金も考慮してはどうか。

市民福祉部長 今後検討していく。

芦塚 楠風館を少子化対応の子育て支援施設にできないか。



▲昼間でも暗い校舎の建物

お茶の間で議会を



・インターネット中継・録画放送
 ・有線テレビ放送
 (放送については議会事務局にお尋ねください)

市政

森田 現在、市内一部地域で福祉車両の運行が導入され、好評と聞いている。他の地域からの導入要望はないか。

市長 ご意見箱の投稿に1件、現在行っているふれあい対話集会においても各地区で高齢者の方々の交通手段の確保との話を伺っている。



高 高齢者や移動困難者の移動手段を支援しては

森田明彦 議員

答 意向調査等も必要と考えている

森田 政府は無電柱化を推進するため、設置基準を緩和した。嬉野市として、今後のまちづくりに積極的に推進する考えはあるか。

市長 今回の決定については非常に前向きに考えている。

森田 担当課では基本的な計画として、何か考えがあるか。

無電柱化推進の考えを問う

森田 国内でも色々な形で導入されているが、移動の手段が確保され気軽に出かけることで、精神的にも健康面でも好影響を与えると考えるが、いかがか。

市長 非常に重要なご意見と思う。今後、区長さん方のご意見等も承っていきたいと思う。



▲吉田地区で活躍するヨッシー号

建設・新幹線課長 今、整備中の駅周辺については道路沿いに電柱を立てず、裏を回す配電計画を進めている。その他については、地元からの盛り上がりも必要ではないかと考える。

森田 納税者にメリットがあるので金融機関と協議、検討してはどうか。

市長 自宅のパソコン等で申し込みができ、市民の皆様の利便性が向上すると認識している。

森田 納税者にメリットがあるので金融機関と協議、検討してはどうか。

事務収入課長 費用対効果としてのくらの事務合理化や経費節減また、利便性向上があるか、先進地の事例を注視していきたい。

森田 自治体の公金収入事務を効率化するシステムを宮崎銀行が構築し

公金収納をネットで行う事を検討してはどうか。

当 初計画の源泉集中管理どうしたか

山下芳郎 議員

答 モニタリングシステムで進める



ベルを計ることは理解するが保護・保守管理までできるのか。

市長 以前は、源泉をタンクに集めて配湯する方法であったが、このシステムでは、温泉の利用状況等を源泉の湯湯口にデータ送信の機器を設置することで一括して見られるので、源泉集中管理はモニタリングシステムで行う。

山下 湯河原温泉も下呂温泉も全員加盟でなく賛同者が集まって稼働している。嬉野温泉もその方式で良いのではないか。

市長 嬉野は湯だまりが一つであり、全部が加盟でないと効果が出ない。

山下 源泉がなく配湯を受けている旅館等への説明はどうするか。

市長 所有者への説明を優先する。

山下 財源の合併特例債の期限まで4年。財源と費用の見込額は。

市長 基本的な計画は6〜8億円を計画していたが、半額ぐらいとみる。有利な財源を考える。

山下 モニタリングシステムで各源泉の湯のレ



▲減反対応でのキャベツ畑

平

成30年度で水田減反がなくなるが

答 対応は考えている

織田菊男 議員



織田 減反対応はどうするのか。

市長 国から需要、価

大豆の生産が伸びている。野菜の試験栽培も行われている。中山間地では、今年度から普及センターとJAと一緒にサトイモ、ホウズキ、ケール、等を試験農場に作付けし研究している。

農林課長 抜根のみの補助金はない。ただし改植や転作等を伴う抜根には補助金がある。県の低コスト園化についても補助がある。基盤整備事業は上限50万円、2分の1の補助金がある。

織田 鳥獣対策はどうしているのか。被害は増えているが。

織田 放棄地の再生地で栽培する補助対象作物はどんなものか。

農林課長 昨年度、猪1500頭を猟友会の協力で捕獲した。各地域で、狩猟の免許取得を推進している。猟友会などと、その地域が協力して捕獲に協力いただければと思う。

うれの茶振興課長 国の事業での転作は、野菜や果樹また、畑作などが対象で山林は対象外。県の事業では樹園地から樹園地、お茶から樹園地、お茶からミカン。基盤整備事業はお茶の改植のみできる。

織田 農業補助金、交付金で希望の多いものは。

織田 耕作放棄地、荒地の面積は。

農林課長 補助金で多いのはコンバインや田植機などの農業機械の導入、また、施設の整備、それに有害鳥獣による農作物被害防除のための侵入防止柵が多い。

農務委員会事務局長 遊休農地は200ヘクタール、水田33ヘクタール、畑176ヘクタールである。

織田 茶園の耕作放棄地はどう考えているのか。抜根をしなくては畑の利用ができない。抜根の補助はないのか。

農林課長 平坦地では

秋季消防訓練の反省は

山口 秋季消防訓練が

下野区で山火事を想定して開催されたが反省点は。

市長 器具の破損で送

水できず、日ごろの点検を指導した。

山口 防火水槽までの

通路が不十分であり、他

地区の箇所も含め対応す

べきではないか。また、地下式消火栓は狭い通路の場合、離合できない。

他地区も含め、消防車の誘導の連携が必要であり、日頃より、状況判断の連携をすべきではないか。

集水ピットは安く効果も大きい。市も推進を。

総務課長 防火水槽は

若干の工事費を伴うが、いずれも検討する。

その他の質問

・下吉田区松尾の荒廃ミ

カン園を営農団地へ

・新高校の運営について



▲嬉野温泉に欠かせない源湯

受け入れ施設の選定は誰が行ったのか

山口忠孝 議員

答 佐賀県が避難計画を策定し設定している



山口 伊万里市の一部

住民の原子力災害避難者受け入れ施設に市内の公施設は指定されても仕方がないと思うが、小さな地域の公民館まで指定されている。これは、県

が指定してきたのか。

市長 台帳を中心に県の方が拾われたということだが、実はもっとたくさん(25000人位)

受け入れて欲しいということだった。本市が責任を持って受け入れられるのは10500人位だろうと県と伊万里市と本市が協議して出した数字の結果である。

山口 自治公民館の地域の方々はこのことを周知しているのか。

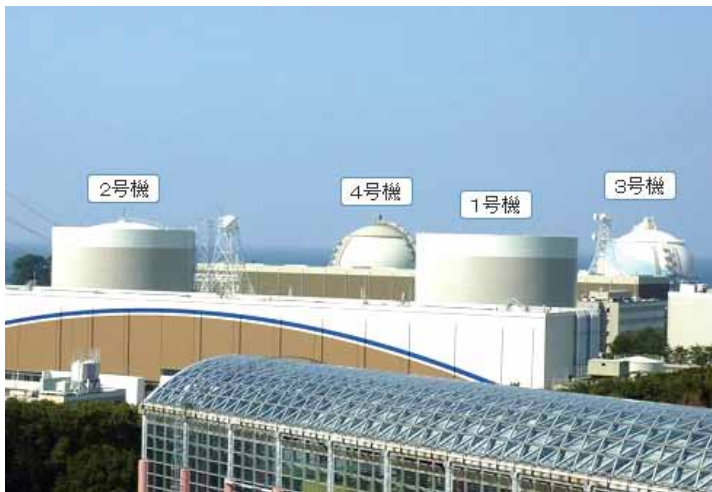
市長 避難者の受け入れについては、毎年第一回目の行政嘱託委員会で該当地区に話をしている。

山口 一般の市民の方々はこれだけの数の避難者を引き受けていると知らないのではないかと。広報などで周知するべきではないか。

市長 市民の方々に理解してもらおう方法やその機会を考えたい。

山口 私は原発再稼働に反対だが、市長も以前から反対されていたが今はどうか。

市長 現在も変わらず反対である。



▲賛否両論の原発施設 (九州電力ホームページより引用)

地域行事の子ども相撲大会に支援を

新しい学力観にどう取り組むのか

山口 地域行事である相撲大会の参加者が少なくなってきた大会存続が危惧されている。体育の授業に相撲を数回でも取り入れられないか。

教育長 大草野小は学校の授業として校内相撲大会を丹生神社でやっている。轟小は熊野神社で地域が主体となって奉納相撲大会をやってもらっている。

山口 明治大学教授齋藤孝氏の「新しい学力」の講演や著書はどうであったか。

教育長 伝統的な学力と新しい学力について、齋藤氏なりの考えを拝聴したところだ。

山口 総合的学習の時間はなくなるのか。

学校教育課長 総合的学習の時間は変わらない。

が指定してきたのか。



▲児童虐待防止を訴えるチラシ

児 童虐待の相談窓口は 夜間・休日も対応

西村信夫 議員



西村 親などによる

児童虐待の相談件数は
2015年度全国で10万

3千件を超え過去最高を記録した。本市の2015年度児童虐待相談件数と相談体制はどうなっているか。

市長 本市の平成27年度相談件数は3件である。

相談窓口体制は塩田庁舎子育て支援課、嬉野庁舎は福祉課に家庭相談委

員を配置している。夜間や休日は両庁舎の警備員から担当課長に連絡する。

西村 子どもの安全のため一時保護する場合の対応はどうするのか。

市長 緊急を要する場合は児童相談所に通告し、場合によっては警察へ依頼することもある。

教育長 学校で児童虐待が発覚した場合、校長は事実を確認して教育委員会や福祉課に報告する。

西村 虐待予防のため妊娠期から子育てまで切れ目のない支援が必要と考えるが、本市の対応は。
市長 現在、養育支援が必要な家庭への妊娠期、出産後早期からの支援を関係機関と連携して行っている。

インフルエンザ 予防接種の状況は

西村 本市の65歳以上の予防接種状況は。

健康づくり課長 27年度実績で約60.2%が予防接種を受けられている。

西村 予防接種の助成期間を一ヶ月「1月31日」

まで延期したらどうか。
健康づくり課長 今後検討する。

西村 市職員同様、非常勤職員もインフルエンザ予防接種の助成をすべきではないか。

総務課長 職員は共済組合から助成があり、非常勤職員の助成は考えていない。

西村 インフルエンザ接種費用は全国平均3346円で佐賀県平均は3081円である。市内の医療機関の平均接種費用はいくらか。
健康づくり課長 一般の方が3915円。65歳以上は4223円の費用で自己負担の1300円を除いた2923円を市が助成している。

西村 インフルエンザの治療費は一人いくらか。
健康づくり課長 完治するまで平均1万円程度かかる。

み ゆき球場や球技場に ナイター設備を

田中政司 議員

答
全体的な整備の中で
検討する一つの課題



田中 公共施設の総合

管理計画を作成されている。市内にはみゆき球場・轟球場・北部球場の3つがあり、財政的に今後の健全な維持については不安がある。ナイター設備が整っていないみゆき球

場やサッカー場においては、今後の有効利用を考えると早急に整備すべきと思うが。

市長 今までは、みゆき公園の管理自体のことがあり、公園の夜間利用は想定されていなかった。

しかし、将来的に施設を増やすというわけにはいかず、いろいろな形で夜間の利用状況も増えてきているので、どこかの照明設備を移動させるなど、全体的な整備の中で検討する一つの課題である。

田中 今後はいくつもある公共施設を統合していかなければならない状況と思うが、轟球場を全面芝生のグラウンドゴルフ場にすれば、かなりの利用者が見込めるのでは。
市長 財政的な課題もあるが、総体的に検討する中では一つの考えとして持っておきたい。

小学校の建て替え・ 統廃合の検討は

田中 市内の小学校のこれからの児童数、あるいは校舎の耐用年数など

交通弱者対策を急げ

大島恒典 議員

答 計画づくりを進めていく



大島 現在吉田地区で運行している福祉バスについて、乗車率や課題はないか。
福祉課長 乗車率は年々伸びている、課題は特別

聞いていない。
大島 乗り合いタクシーにおいての乗車率は。

企画政策課長 大野原線については利用者が減少傾向である。

大島 国において交通政策が見直されたと聞くが。

企画政策課長 地域公共交通の担い手は事業者が主体であったが地域戦略の一つとして地方公共団体が取り組むべきとの改正である。

大島 これからの地域交通ネットワークを考えると基幹的なバス路線は残すべきだが、住民の利便性や乗車率を上げるためにも小回りの利くコミュニティバスの運行を考えていくべきだと思うが考えを聞く。

市長 吉田地区のバスについて、他地区の市民も関心を持っておられると感じている。今後路線的にきめ細かく動かせる方法を考えていく。

大島 交通弱者対策は喫緊の課題であるが、持続可能なシステム作りには



▲より利用が望まれる乗合タクシー

はワンコイン方式なども考えていくべきではないか。

企画政策課長 連携計画の見直し時期が来ている。新幹線の開業も視野に入れながら計画づくりを進めていきたい。

公共施設等総合管理計画の進めかたは

大島 今後、どう進めていくのか。

市長 私をトップとして全庁的な組織を構築していく。

大島 担当課ごとの計画づくりでは進まない。

全体をマネジメントする専門の部署を作れないか。

市長 国、地方とも縦割りの組織の中でいろいろな整備をしてきた歴史がある。今後はその枠を乗り越えて全庁的に管理できる体制を作っていく必要がある。

大島 公共施設において教育施設の占める割合が多い。今後の長期的な計画も視野に入れていくべきである。

教育長 重要な施設と認識しながら、今後の市内の動きに協力していく。

を考慮し、統廃合を含めた建替え時期の検討に入るべきと考えるが、いかがか。

教育長 平成34年までは把握している。今から5年間で126名の減である。以前は1年で100名ほど減っていたので、それに比べれば微減であり、今後は平成35年度以降の数字を見ながら時間をかける必要がある。

今後、考えなければならぬ時期に来ていると

は認識しているが市教委としては、それが何年度にということまでは考えていない。

嬉野インターから中学校までの照明

田中 藤棚には蛍光灯の照明があるが暗くて危険である。県道としての照明を設置できないか。

市長 県へ要望する箇所と認識しており、今後協議して、要望していく。



▲利用者が多いみゆき公園球技場

デザインウィークとは何か

辻浩一 議員

答 郷土愛を育む運動だと思ふ



辻 体験による人材育成は子供だけではなく、幅広く起業に繋がるといふような人材育成も必要ではないか。

市長 企業誘致プラス起業も大きな目標にして



▲シーボルトの湯にマッチングした灯籠の灯り

いるので、今回の企画に期待している。

辻 外部からの起業だけではなく、市内の職を研修しての起業も必要ではないか。

市長 そのためには、官民一体となつて活動が継続されるような体制づくりが必要である。

辻 今回の事業やメディアの取り込み、発信力はどうするのか。

企画政策課長 東京デザインウィーク会社社が得意とする分野なので、し

っかり取り組みたい。

原発事故避難場所の取り組みは

辻 避難場所の設定は単なる人数割りなのか。

総務課長 本市から各避難場所の収容人数を報告し、伊万里市が配置予定を行っている。

辻 障がい者の避難場所は想定しているのか。

総務課長 通常のトイレ、調理器具の整備ができて

自

然災害の対策はどう考えているか

川内聖一 議員

答 自助力、共助力で命を守る



川内 自然災害における地域の防災対策に、どのような考えを持っているか。

市長 地域の防災対策で重要なことは、自分の命は自分で守る自助力や、地域全体で命を守る共助力を確立させることが大切であると考えている。

川内 地域によっては、高齢者の住まいが多いところもあるが。

市長 区の役員の方との確な判断をして、スピーディーに避難してもらいたいと思う。

川内 指定された避難場には、寝具の準備はしているのか。

市長 自分が使用する寝具はない。早目の情報を提供し、早目に避難をしてもらいたい。

川内 災害に強い街づくりを目指す嬉野市だが、市道の異変等の調査は行われているのか。

建設・新幹線課長 当然のことながら連絡があれば、すぐに出向き確認をしている。

川内 ある地域では、豪雨の時に市道の下部より湧水が出て、住民が心配されているが調査はできないか。

市長 現地を確認した後、とれる対策を検討したい。

建設・新幹線課長 農林事務所に相談した経緯がある。再度、農林事務所とも協議をしたい。

塩田川の堆積土の対策は

川内 大雨が降るたび土砂が堆積するが対策は、

市長 所管の土木事務所に撤去の要望をする。

川内 上流域からの土砂の流出を防ぐために砂防ダムの浚渫を県に要望できないか。

建設・新幹線課長 新しい砂防ダムでも10年程経過している。大分溜まっていくものと考えられる。

桜の樹木を増やせないか

川内 塩田川沿いの区画道路に桜の木を植樹する構想はないか。

建設・新幹線課長 区画道路には無理だが、河川敷との境界の緑地には可能かと思う。

川内 弘前市の桜の剪定方法を研究できないか。

市長 弘前市役所と相談をして桜の保存について学びたいと思う。

いる。

辻 障がい者を対象とした場所を想定しておくべきではないか。
総務課長 伊万里市や県を通じて検討したい。

高齢者の交通対策は
どうする

辻 高齢者の運転免許証自主返納はどう考えるか。

ているのか。

市長 関係機関、団体と協議し高齢者の交通事故抑止対策を行なう。

辻 地方にとっては、返納後の交通対策が重要であるが、どう考えるのか。

市長 返納すれば外出の機会がなくなるので、説明しながらジレンマを感じている。公共交通機

関と組み合わせるようなシステムを作りたい。

辻 コミュニティバスの運行が必要ではないか。

市長 福祉バスの形態では制限がある。だれでも利用するためには、利用料を頂き、公共交通機関と重複しないような路線を計画すれば取り組めるのではないかと考えている。



医療用ウィッグ購入費助成制度の創設を 前向きに考える

梶原睦也 議員



▲医療上必要なウィッグ

梶原 抗がん剤治療は吐き気や嘔吐、手足のしびれ、倦怠感、そして脱毛と様々な副作用を伴う。中でも脱毛は女性にとって深刻な悩みであるが医療用ウィッグ購入については経済的に大きな負担を伴う。

健康づくり課長 確かに治療による脱毛は患者にとって精神的及び経済的負担となり社会参加の妨げとなっている。

梶原 県内では伊万里

市とみやき町にウィッグ購入費助成制度がある。本市においても導入すべきではないか。

健康づくり課長 助成制度は現在、山形県、鳥取県、さらに全国45の市町村で実施されている。実施自治体の状況を参考に検討したい。

梶原 高額品に対する助成は除き、医療用ウィッグ購入費助成制度を創設すべきと思うが。

市長 がんを発症され



▲自然災害で崩壊した現場

た方のご苦労は十分承知している。ウィッグを導入することで気分的に楽になられ、いろんな方とお会いしお話ができることは非常にいいことであり、ウィッグ購入費助成制度については前向きに考える。

児童虐待の対応は

梶原 毎年11月は児童虐待防止月間だ。虐待件数は全国10万件を超えた。本市での現状と対応は。

市長 平成27年度で3件。緊急を要する場合は児童相談所に、または、必要に応じて警察へ協力を依頼して対処する。

教育長 1年で1〜2件の報告がある。学校で児童虐待の疑いがあることが発覚した時は、証拠がなくても報告をする事となっている。発見した教職員は速やかに関係機関に報告・連携を取り対処する。

梶原 虐待と産後鬱の関係が言われている。

フィンランドに妊娠期から家族をケアするネウボラという出産相談所がある。日本版ネウボラである「子育て世代包括支援センター」を設置すべきだ。

健康づくり課長 平成31年4月開設を目指す。

伝 統文化の伝承をどうする

生田健児 議員

答 部分的に取り組んでいる



生田 担い手が減少していく伝統行事等について、市としてはどう考えているのか。

市長 それぞれの文化遺産の特性に見合った取り組みや活用を企画し、

より一層盛り上げていただけだと考えている。

生田 人員が足りないときのボランティアや、有志の方の助っ人制度は考えられないか。

市長 地区が離れると浮立の笛や踊りも違うところがある。そこを一緒になれというのとはなかなか難しいと思う。我々としても、ぜひ地域の伝承芸能は残していきたいという考えであり、機会を捉えて各地区のそのような技術を持ってもらえる方にお集まりいただきたい、そこで一回協議もできたらいいのではないかとと思う。

生田 将来的には消滅も考えられる伝統行事や風習、そして、言葉や土地の名等も含め、市として収集・記録・保存し、後世に伝えていく必要があるのではないかと。

市長 そのような活動については、ぜひ支援をしていきたい。

生田 市民の方から伝統行事や風習、また、言葉等の写真や動画のデータを募集し収集するのは



▲利用者が増え続けている広川原キャンプ場

開

かれた市政とは

増田朝子 議員

答 市民に理解してもらう市政



増田 開かれた市政とはどのような形か。

市長 市民の方に理解

めて、フローチャートもできるだけ公開するように努めている。

増田 総務課所管分の審議会案内や、会議録の公表は全てしているか。

総務課長 会議録の一部作成をしていない分もあるが、会議等の公開はしている。

増田 各担当課の考えはどうか。

建設・新幹線課長 まちづくり委員会は、第1回委員会は非公開。結果についてはホームページで公開している。

増田 大野城市において審議会等一覧とその内容がホームページに掲載されている。どう思うか。

企画政策課長 設置根拠の部分についての公開はすぐに行える。

増田 入札結果や契約内容の掲載の考えは。

財政課長 わかりやすい内容とするためには、専用のページをつくり掲載したい。

増田 県内10市のほとんどの自治体が掲載しているが。

財政課長 すぐにでも

対応はできるので、早いうちに掲載したい。

広川原キャンプ場の見直しは

増田 バンガロー改修後、利用客も増え、観光的な要素も含んできています。農林課所管を観光課に移管してはどうか。

市長 森林林業ということから切り離すことはできないが、管理自体を民間委託の方法で探していきたい。

増田 バンガローの改修も行われ、利用しやすくなった。今後料金改定の予定はあるのか。

農林課長 近いうちに改定を行っていきたい。

すぐにも可能ではないか。

市長 町史の発刊後、記録等がなく、ここ二十数年間の記録が抜けており、今後、組織等を立ち上げてやっていきたい。

外国人観光客対応は

生田 嬉野フリーWi-Fiは言語によって接続が違う。日本語で接続するとアンケートを書かなければいけない。しかし、

韓国語や中国語、英語等に入るとすぐ接続できる。

言語によっての区別は、非常に不愉快と思う人もいると思うが改善できないのか。

うれしの温泉観光課長 アンケートをとる意義は利用状況等の現状把握が必要ということであり、現在アンケートを実施している。今後、その辺も含め

研究したい。



▲代々伝承されている吉田地区の小浮立

財 政条例の制定を

山口 要 議員

答 研究をしたい



山口 今後、財政状況が厳しくなっていく中で、財政にシビアに対応していくためには財政条例の制定が必要ではないか。
市長 予算の編成権や議会の議決権とかの問題

点もあるので研究したい。

山口 この問題については、今から5、6年前に資料を渡した経緯の中で今までも手がつけられていない。検討するのか、しないのか明確な答弁を聞きたい。

市長 問題点が解決できれば条例制定ということとは、やぶさかではない。

ふるさと納税について

山口 現状における寄附額の状況はどうか。

企画政策課長 11月末で7億円、昨年度よりは順調な伸びを示している。

山口 ポイント制についての考え方はどうか。

企画政策課長 ポイント制の導入で、実績を伸ばしている自治体もあるので検討する余地はある。

山口 企業版ふるさと納税についても取り組むべきではないか。

企画政策課長 せっかくの制度なので、導入する動きをしていきたい。

地域おこし協力隊募集を早急に

山口 この問題については以前より提案をしてきたが、未だ実績が伴っていない。統計によると、隊員の任期終了後、約6割が地元へ定住しているという結果が出ている。今後の取り組みについては、どう考えているか。

企画政策課長 今、動いているので、必ず導入したいと考えている。

総合計画の取り組みは

山口 酒田市では、多様なメンバーが集まって多様な意見を言い合うという対話方式の「SIM2030」を使いながら、検討会議が開催されている。本市でも導入に向けて検討してはどうか。

企画政策課長 その方式を調べたが、計画づくりの中では重要なものであると認識をした。
山口 計画は未来をつくるものなので幅広い意見の結集が大事である。
企画政策課長 同様の認識であるので、市民の声を反映させていきたい。



▲財政運営に頭を悩ます財政課

全国の先進事例をキャッチ 市の施策に生かせ

委員会レポート

観光施策の 連携について

総務企画 常任委員会

委員会の意見

嬉野あつたかまつりと連携する青森県弘前市の観光の現状と青森県八戸市の「ポータルミュージアムはっち」について調査を行った。

弘前デザインウィークは弘前のイメージを発信し弘前をPRして、その過程において人材育成をしていくのが目的だと認識した。嬉野市で行う場



▲八戸市で説明を受ける総務企画委員

委員会報告とは

定例議会最終日に、調査課題として各委員会に付託を行う。
各委員会はその付託案件について、議会休会中に視察・調査を実施する。
その結果は次の議会に委員会報告として上程し質疑応答の後、採決を行う。

合は、人材育成を重視していく必要があると考える。イメージの部分が多く実現は難しいと思うが、市民を巻き込み意識改革を行い、プラスのスパイラルを作り、まちの活力を生み出すことが重要である。

市民交流の拠点である「はっち」はまちづくりが重要だと言う認識の下、様々な年齢・職種の交流で多くの市民がかかわる事ができるメニューを

展開していた。館内で起業の研修を行い、その後館内で補助金を活用してチャレンジショップを2年間できるようにしている。

嬉野市においても商店街活性化は重要な課題であり、いろいろな取り組みを行っているが、企業誘致が厳しい中、起業させることや、空き店舗を活用したチャレンジショップなどの起業に向けた研修制度も必要である。

常任委員会の構成と担当

産業建設常任委員会	文教福祉常任委員会	総務企画常任委員会
委員長 大島恒典	委員長 山口忠孝	委員長 辻 浩一
副委員長 山下芳郎	副委員長 田中平一郎	副委員長 芦塚典子
田口好秋	山口 要	田中政司
織田菊男	西村信夫	山口政人
宮崎良平	梶原睦也	増田朝子
生田健児	森田明彦	川内聖二
・建設関係 ・農林関係 ・環境衛生関係 ・産業関係 ・環境水道事業	・健康福祉関係 ・学校教育 ・文化財 ・コミュニティ関係 ・文化・スポーツ振興	・総務関係 ・財政関係 ・企業誘致関係 ・消防関係 ・社会教育 ・商工観光関係

動く



▲中津川市図書館で研修する文教福祉委員

社会 委員 常任 文教

読書基本条例の 取り組みと伝建地区 の今後について

政策提案の一環として
読書基本条例の議会提出を
目指している当委員会は、

中津川市民読書基本条例を
制定している岐阜県中津川
市に向いて、直接担当課
から話を伺った。

また、中津川市と旧中
山道でつながっている長野
県南木曾町妻籠宿の伝建地
区を訪ね、保存地区の今後
の課題などについて担当者
と意見を交換した。

委員会の意見

読書基本条例について

新図書館建設中止とい
う事態にもかわかわらず、
条例制定に取り組まれた
のは、それまでの実践の
積み重ねがあったからだ
と感じた。この条例には
予算措置等は一切なく、
むしろ宣言のような取り
扱いをしているようだ。
本市においても、読書

基本条例をまちづくりや
人づくりの道標として活
用したらよいと思う。今
後も読書基本条例を制定
している他自治体の取り
組みを視察研修する予定
である。

伝建地区の今後について

妻籠宿は徳川時代の宿
場町の姿を残す情緒ある
ところで、保存活動も40
年以上にわたっている。
本市と同じく空き家も
出てきているそうで、今
後、人が住み、生活がで
きるような仕組みや方法
が必要と思われる。

産業 建設 委員 常任

茶交流館の今後 のあり方について

観光と一体化した集客
の施設が必要と考え、堺
市の文化観光拠点「さか
い利品の杜」(平成26年
オープン)と岐阜県白川
町と東白川村のお茶の加
工施設と道の駅を併設し
た「道の駅 美濃白川ピ
アチエーレ」飛騨美濃特
産名人の館「茶・ちゃ・
チャ」新世紀工房「道の
駅 茶の里東白川」の各

施設を視察した。

委員会の意見

今回建設する茶交流館
のデザインや展示内容を
プロデュースした会社が
手掛けた「さかい利品の
杜」を視察したが、見ご
たえのある施設だった。

白川町の道の駅には、
お茶の仕上げ工場、ハム
の加工施設、道を隔てて

手もみ茶の研修施設が
あったが、直売所との連
携が希薄に感じられた。
東白川村は、村長をは
じめ将来に危機感を持つ
て取り組んでおられ、村
営会社のような「新世紀
工房」は、今後の交流館
のあり方に参考になると
考える。

交流館には、年間を通
してお茶の里として体験
できる取り組みを茶の研
修センター(嬉茶楽館)
と連携して考えるべきで
あり、観光と茶業振興を
結びつけていく施設にす
る事が重要課題である。



▲白川町で質疑を行う産業建設委員

付託委員会名	付託事件名
総務企画常任委員会	定住促進の取り組みについて
文教福祉常任委員会	読書基本条例について
議会運営委員会	議会改革について

ドリームハンズ 子ども模擬議会を開催

活発に議論を
展開した
子ども議員

嬉野市商工会青年部主催のドリームハンズ事業が開催されました。この事業は、小学校4年から6年生を対象にしたもので、美容師や看護婦などのいろいろな職業を体験するものとなっております。

その中で、市議会議場を使っての子ども議会が開催され、模擬市議会議員としての体験活動がありました。

当日は、谷口市長より「嬉野市内全児童の英語力向上を推進する条例」の提案があり、賛成・反対それぞれの

中学生の声

生徒会長としての
の1年間

嬉野市立嬉野中学校 3年
種子島 龍之介



私は昨年、嬉野中学校の平成28年度の生徒会長として、1年間活動してきました。

しかし、最初の頃、私の生徒会長としての働きはあまりよいものではありませんでした。人前で話すときも、途中で頭が真っ白になり無言になってしまったり、生徒会としての活動も同じ生徒会のメンバーと分担せずに一人で行ってしまっていました。そのせいで失敗してしまうことが何度もありました。しかし、生徒会の先生の助言や同じメンバーの協力もあって、それからうまく分担して活動を行うことができました。また、人前で話すということも、数を重ねるなかで慣れることができました。

1年間、生徒会長として活動して一番印象に残ったことは、修学旅行の実行委員長として運営したことです。熊本地震の影響もあり、旅行先が五島・福岡に変更する中で、やり遂げることができたのは、大きな自信になりました。

先生とメンバーに恵まれ、この1年間、生徒会長として活動できたことは、人生の財産になると思います。私は、この1年で学んだことを、今後の人生に生かしていこうと思います。

ドリームハンズ 議員体験参加者名簿

	氏名	小学校	学年
一限目	1 野中凛太郎	五町田	5年
	2 藤山 夏菜	五町田	5年
	3 熊谷 隼	塩田	4年
	4 田口 紗恵	塩田	4年
	5 小野原淳平	嬉野	5年
	6 木下 優羽	嬉野	5年
	7 高木 美伶	嬉野	5年
二限目	8 吉田 彩人	嬉野	5年
	1 熊谷 望夢	塩田	5年
	2 坂本 博将	塩田	5年
	3 井手 鈴音	嬉野	5年
	4 山口 莉穂	轟	6年
	5 山口 瑞穂	轟	5年
6 岸川幹太郎	轟	4年	

立場に立って大人顔負けの活発な議論が展開されたところです。議員体験をした14名の子どもたちは「今まで経験したことがなかったので戸惑ったけど良い経験ができました」との感想で、将来の日本を担っていくであろう、この子どもたちに大きな期待をしたいと思います。

若者の政治離れが顕著になってくる中で、子どもたちは勿論、市民の皆さん方にも政治に関心を持ってもらうための一層の努力が必要であると痛感しました。そのため嬉野市議会としても情報公開を含めて、あらゆる機会を通じて議会改革を図っていきます。



▲活発な議論が展開されている子ども模擬議会

議会広報編集特別委員会

委員長	山下芳郎
副委員長	山口忠孝
委員	山口要
	織田菊男
	芦塚典子
	森田明彦
	川内聖二
	生田健児

行ってもらいたいと思う▼これは多くの人望んでいるので、今後の国や県、市の行政の動きを、注意して見ていきたい。(菊男)

コラム

昨年は、台風や水害、地震、竜巻などで多くの自然災害が発生して生活被害を受けた人も多かった。幸いに嬉野市は大きい災害もなく済んだが今年も日本中災害がない年になってほしいと望む▼国会の議論を見ていると国の最高の機関としての機能が発揮されているのかどうかと心配になる。日本の将来のことをよく考えて話し合ってもらいたい▼我々庶民は儉約して、一生懸命に家庭生活を守っている。国も無駄を省き、健全な財政を行ってほしい。